

# 社会福祉法人 ひょうご障害福祉事業協会 令和3年度 事業報告書

## I 本部事業

重い障害のある人たちの家をつくろうと、昭和56年(1981年)に「はりま自立の家」、昭和60年(1985年)に「はんしん自立の家」を開設し運営してきたが、宍粟市や西はりま地域の人々の要望により、宍粟市波賀町小野に敷地を貸与され、平成7年(1995年)に「しそう自立の家」を開設・運営してきた。小野川のほとり、山間に佇む「しそう自立の家」は自然環境に恵まれた場所に位置し、50人の人たちの楽しい生活を送ることができた。しかし平成30年(2018年)の西日本豪雨の折に、小野川上流の砂防堰堤も決壊寸前となり、土石流と土砂災害の危険区域となりその後もたびたび避難を繰り返すことになった。安心安全を優先して移転建設プロジェクトをたちあげ、宍粟市山崎町与位に新たに建設用地を購入。令和3年3月に建設工事に着手し令和4年3月に完成、令和4年度から新しい生活が始まることになった。

新しい「しそう自立の家」は、山崎町の北部に位置し、国道29号線からも近い。宍粟の地らしく木のぬくもりを感じられる木造建築とした。移転建設に当たっては、国県の補助金、借入金以外に多くの資金が必要となり、たくさんの人に「誰ひとり取り残されない社会の構築」SDGsの思想を実践するため、協力を呼びかけた。単に災害からのがれて安全な場所に建物を建てるのみではなく、「理想の社会を夢見ながら、共に生きる社会をつくる」という「自立の家」設立時の理念にもとづき、未来に向かって地域の新しい福祉社会の拠点となることを目指している。

### 「しそう自立の家」概要

住所	宍粟市山崎町与位 696-7
構造・規模	木造・一部鉄筋コンクリート造 地上2階
延べ床面積	2,503.55㎡ (居室54室、食堂、多目的ホール、浴室、医務室他)
設備	全館空調・換気設備、床暖房(共用部分、一部居室) 天井走行リフト(居室、トイレ、浴室)、特殊浴槽(ミストシャワー浴他)
総事業費	1,099,218,112円
補助事業名	令和2年度社会福祉施設等施設整備費補助事業(国および兵庫県)
設計監理	株式会社アール・アイ・エー
施工	前川建設株式会社

令和3年2月に一般競争入札を実施し建設業者が決定し、令和3年3月から建設工事に着手した。令和3年7月には天井走行リフト、特殊浴槽の一般競争入札も行い納入・設置業者が決

定した。工事着手後、建物の構造材である木材の価格が急騰し（所謂、ウッドショック）、木材の入手が困難な状態となったことから、建物の今年度内の完成が懸念されたが、本プロジェクトに関与する全ての関係者の尽力により、途中の遅れはあったものの令和4年3月に無事に完成した。

移転建設の総事業費は、上記の通りウッドショックによる建築費用の増額等もあり、1,099,218千円の資金が必要となった。これを、国および兵庫県からの補助金397,900千円に当法人の自己資金601,318千円と福祉医療機構からの借入金100,000千円を組合せた資金計画としている。

## 1 施設運営

今年度も、昨年度に続き新型コロナウイルスの感染が収まる気配がなく、従来のデルタ株からより感染力の高いオミクロン株とその亜種への置き換えも進み、引続き感染予防対策を実施している。各施設では、マスクの着用と検温、施設内の消毒・清掃などを徹底した。また、入所者の不要不急の外出は引続き禁止とし、家族等との対面での面会は場所や時間を限定して実施している。入所者へのボランティア活動や各種イベントについては、感染リスクの極めて低い活動につき限定的に運用した。1回目から3回目接種までのワクチン接種については、入所者および職員に対し施設内における集団接種が滞りなく実施された。現在のところ、各施設でクラスター等は発生していないが、引続き感染予防対策の徹底を実施している。

新型コロナウイルスにより、各施設の従来の活動が大きく制約を受けていることから、それにかかわるボランティアや地域との繋がりを途切れさせず維持していくことが課題となる。

## 2 財務全般

施設入所および生活介護を主要業務とする当法人の各施設では、新型コロナウイルス2年目となり、引続き入所者の帰省および外泊が減ったことから入所者の利用日数は安定的に推移。一方で、通所および短期入所が低水準で推移しており、3施設の事業活動収入は前年に比べ0.7%減(▲7,509千円)となった。支出については、新型コロナウイルスの影響により各施設の行事活動が制約され支出も低水準のまま推移したが、燃料価格を中心とする物価上昇および「しろう自立の家」移転建設に伴う器具備品等への支出増により、前年に比べ0.9%増(+9,062千円)となった。この結果、3施設の事業活動資金収支差額は前年に比べ21.2%減の61,766千円(▲16,571千円)となった。また、法人全体での事業活動資金収支差額合計は、寄附金が増加したこと等により、前年に比べ40.3%増の125,998千円(+36,175千円)を計上した。前記の通り、「しろう自立の家」移転建設において601,318千円の自己資金を支出し施設整備等資金収支差額が▲609,229千円となったことから、当期の資金収支差額合計は▲481,438千円の結果となった。

## 3 施設・設備整備

「はりま自立の家」では、重油地下貯蔵タンクの保守工事、フレンズホール和室空調機の更

新ならびに乗用車の買い替えなど、主に老朽化に対応した設備等の更新を行った。「はんしん自立の家」では、2階食堂および女子棟エリアの空調設備を更新し、これで一昨年来より進めてきた空調設備のGHP方式（ガスエンジン方式）から、耐久性が高くランニングコストが低いEHP方式（電気方式）に切替えが完了した。また、助成金を受けて特殊機械浴槽（ミストシャワー浴等）および汚物除去機を更新した。

「しそう自立の家」については、新施設においても従来の家具・備品等の転用を基本方針としているが、経年劣化の進む業務用洗濯機・乾燥機は新規購入とし、キャビネ・事務机等の老朽化した什器・備品を買い替えた。また、建物新築にあたり全館をWi-Fiでカバーし、業務用携帯電話（スマートフォン）、ナースコール、業務用PC、ならびに防犯カメラ等をIPネットワークで統合し、業務効率化を図っている。

#### 4 評議員会運営

第1回（定時）令和3年6月7日 みなし決議

議案 ①令和2年度決算（計算書類、財産目録ならびに附属明細書）の承認 ②新役員の選任 ③「かるがも園」の基本金の取崩しの承認 ④しそう自立の家の移転建設における資金計画の承認

第2回 令和3年9月24日 於 「はんしん自立の家」会議室

議案 ①令和3年度第1次収入支出補正予算案の承認 ②「しそう自立の家」移転建設の設計変更および予算の承認

第3回 令和3年12月27日 みなし決議

議案 ①令和3年度第2次収入支出補正予算案の承認 ②「しそう自立の家」移転建設の資金計画の承認

第4回 令和4年3月28日 於 神戸ベイシェラトンホテル

議案 ①令和3年度第3次収入支出補正予算案の承認 ②令和4年度事業計画案の承認 ③令和4年度収入支出予算案の承認 ④「しそう自立の家」の移転建設における資金計画の承認

#### 5 理事会運営

第1回 令和3年5月20日 於 神戸ベイシェラトンホテル

議案 ①令和2年度事業報告の承認 ②令和2年度決算（計算書類、財産目録ならびに附属明細書）の承認 ③「かるがも園」の基本金取崩しの承認 ④次期評議員選任・解任委員の選任 ⑤次期評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦 ⑥評議員選任・解任委員会の招集について ⑦次期役員（理事および監事）の評議員会への推薦 ⑧「しそう自立の家」の移転建設における資金計画の承認 ⑨「し

「しそ自立の家」移転建設における天井走行リフトおよび特殊浴槽の一般競争入札について ⑩評議員会の招集日時、場所、議題等について

第2回 令和3年6月7日 於 神戸ベイシェラトンホテル

議案 ①理事長および業務執行理事の選任

第3回 令和3年6月30日 於 「はんしん自立の家」会議室

議案 ①天井走行リフト等および特殊浴槽設置工事に関する入札の参加業者について  
②天井走行リフト等および特殊浴槽設置工事に関する入札の予定価格について

第4回 令和3年7月26日 於 「はんしん自立の家」会議室

議案 ①「しそ自立の家」移転建設における天井走行リフト設置工事および特殊浴槽設置工事に関する契約書の締結について

第5回 令和3年9月13日 於 神戸ベイシェラトンホテル

議案 ①令和3年度第1次収入支出補正予算案の承認 ②「しそ自立の家」移転建設の設計変更および予算の承認 ③正職員給与規則の改定について ④評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦 ⑤評議員選任・解任委員会の招集について ⑥評議員会の招集日時、場所、議題等について

第6回 令和3年12月13日 於 神戸ベイシェラトンホテル

議案 ①令和3年度第2次収入支出補正予算案の承認 ②ウッドショックによる工事請負代金の増額要求への対応について ③「しそ自立の家」移転建設の資金計画の承認 ④福祉医療機構からの借入について ⑤評議員会の招集日時、場所、議題等について

第7回 令和4年3月14日 於 神戸ベイシェラトンホテル

議案 ①令和3年度第3次収入支出補正予算案の承認 ②令和4年度事業計画案の承認 ③令和4年度収入支出予算案の承認 ④「しそ自立の家」の移転建設における資金計画の承認 ⑤諸規定の変更について ⑥評議員会の招集日時、場所、議題等について

## 6 運営小委員会等

日時 令和4年2月2日  
場所 「はんしん自立の家」会議室  
課題 「しそ自立の家」移転建設

日時 令和4年2月18日  
場所 「はんしん自立の家」会議室  
課題 昇給・昇格判定会議

## 7 監事活動

監事監査 令和3年5月15日 於 「はんしん自立の家」

## 8 評議員選任・解任委員会

日時 令和3年5月25日  
場所 「はんしん自立の家」会議室  
課題 評議員の選任（新評議員：小原依子）

日時 令和3年10月4日  
場所 「はんしん自立の家」会議室  
課題 評議員の選任（新評議員：井上真二）

## 9 研修及び施設連絡会議、その他活動

### 新入職員辞令交付式

日時 令和4年3月28日  
内容 辞令交付式と研修 各施設等を見学  
参加者 1名

### 法人合同中堅リーダー研修

内容 各施設の中堅職員を育てるためのリーダー研修  
場所 「はんしん自立の家」  
日時 11月17日、11月19日、12月3日、12月14日、12月23日、1月6日  
1月7日

### 施設連絡会議

日時 5月14日、6月9日、7月19日、9月1日、10月13日、1月11日  
2月14日、2月22日、3月14日

### ケアマネジメント勉強会

日時 令和3年9月30日  
場所 「はんしん自立の家」  
講師 医師 柿木達也

## II 「はりま自立の家」

### (A) 障害者支援施設「はりま自立の家」

定員(現員)	施設入所支援	50人(48人)	令和4年3月31日現在
	生活介護	60人(登録73人)	令和4年3月31日現在

- ・「はりま自立の家」が11月で40周年を迎えた。外部の方を招くことは出来なかったが、茶話会、風船飛ばし、記念撮影、入居者の皆さんの作品展等、記念の会を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染防止のため、今年度も引き続き帰省・面会、外出の自粛等、入居者の方にも協力していただいた。またオープンハウス等の行事も中止としたため地域交流の機会を作ることが出来なかった。
- ・1名が死亡により退所された。入院はされず、ご本人、家族の意向で最後まではりま自立の家で過ごされた。
- ・入退院をされる方が多く、主な原因は誤嚥性肺炎、尿路感染などだった。
- ・正職員(生活支援員)1名が産休に入り、1種職員(生活支援員)が1名産休より復帰したが、変則勤務の出来る職員が少ない状況が続いた。

### (B) 短期入所事業・日中ショートステイ事業

短期入所	利用実人員	障害者15人	障害児0人
	利用延べ日数	693日	
日中ショートステイ	契約市町	宍粟市	
	利用実人員	障害者6人	障害児6人
	利用延べ日数	505日	

- ・短期入所、日中ショートの利用者はほぼ固定化しており、生活介護との併用者が多い。入所希望がある1名が短期入所利用を開始された。

### (C) 居宅介護・重度訪問事業

契約者	身体障害者	10人	
サービス内容	居宅介護	5人	重度訪問介護 5人 移動支援 4人
年間延べ派遣時間	居宅介護	4,413時間	重度訪問介護 9,360時間 通院・移動支援 207時間

### (D) 児童発達支援・放課後等デイサービス事業

- ① 児童発達支援事業(就学前児)

療育訓練登録人数	17人	年間延べ訓練回数	268回
宍粟市委託児童	8人	年間延べ訓練回数	35回
- ② 放課後等デイサービス(就学児)

療育訓練登録人数	23人	年間延べ訓練回数	568回
----------	-----	----------	------

デイサービス登録人数 4人 年間延べ利用回数 53回  
(内、訓練との併用者2人)

**(E) 福祉ホーム 「ローズハウスはりま」**

定員 (現員) 入所10人 (10人)

- ・「はりま自立の家」を短期入所利用されていた方1名が入所利用を開始された。

**Ⅲ 「はんしん自立の家」**

**(A) 障害者支援施設「はんしん自立の家」**

定員(現員) 施設入所支援 50人(50人) 令和4年3月31日現在  
生活介護 60人(50人) 令和4年3月31日現在

- ・重度化高齢化が進んでいる。新型コロナウイルスのワクチン接種を3回実施した。原因は不明だが、8月にけいれん発作が止まらずに2名が救急搬送し入院された。12月1月には2名が脳内出血を発症された。うち1名は療養型病院へ移られた。また2名の方が重度化による医療ケアが必要となり療養介護施設へ移動され、新たに1名入所され、4年度に1名入所予定となった。
- ・新型コロナウイルス感染防止のために、外出外泊面会の制限をし、職員ボランティアの感染予防策により3年度もインフルエンザ等の感染はなく入居者の健康は維持された。
- ・新型コロナウイルス感染防止のために行事や同好会活動を縮小したことにより支出は減った。外出や帰省も制限したため前半は施設稼働率は高かったが、1月以降2名の長期入院により稼働率はやや下がった。
- ・前々年度から継続した大型空調設備の入替はすべて完了した。
- ・神戸やまぶき財団の助成を受けて、機械浴槽からミストシャワー浴装置導入と、汚物用洗濯機を入れ替えた。
- ・職員配置基準内であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、海外留学生アルバイトは、エチオピアやバングラディッシュのみとなり、他のアルバイトを雇用したが人数は減った。
- ・SDGs研修会を開催し、職員への理解と実践を促した。
- ・地域交流事業の実施は困難で、人数を限定したコンサートを開催した。
- ・口腔ケアを充実させるため週1回の訪問歯科診療を開始した。
- ・兵庫県の指導により、令和4年度より生活介護定員を50人とすることに決定した。

**(B) 身体障害者短期入所事業・児童短期入所事業 日中一時支援事業**

登録人数 136人 実利用人員 32人 短期入所事業利用延べ日数 1,783日  
日中一時支援事業 延50人 実人員1人

### (C) トラファルガー・スクウェア(小規模作業所)

#### 施設の概要

所在地	兵庫県宝塚市高司5丁目5-1
建物(借家)	66 m <sup>2</sup>
事業開始年月日	平成19年11月1日
定員(現員)	利用者 5人以上(5人)
管理者	石田英子

## IV 「しそ自立の家」

### (A) 障害者支援施設 施設入所・生活介護

定員(現員)	施設入所支援	50人(49人)	令和4年3月31日現在
	生活介護	60人(登録70人)	令和4年3月31日現在

- ・新型コロナウイルスの終息が見られず、今年度も帰省、面会、外出の自粛を行った。手洗い、検温、うがい、消毒を毎日実施し、入居者、スタッフの新型コロナウイルスの感染はなかった。
- ・春、秋のオープンデイを中止するなど、対外交流の機会は今年も減少した。
- ・1名死亡、短期入所利用者1名が入所された。
- ・生活支援員1名退職、1種職員(生活支援員、調理員)を2名採用した。
- ・移転準備委員会を定期的に開催し、引っ越しの等の移転準備を行った。
- ・台風等の接近もなく、今年度も避難することなく過ごすことが出来た。

### (B) 短期入所事業・日中ショートステイ事業 定員 各4人

短期入所	利用実人員	17人	利用延べ日数	679日
日中ショートステイ事業	契約市町	宍粟市		
	利用実人員	13人	利用延べ日数	737日

- ・短期入所については、昨年と利用実人員は変わらなかったが、定期利用者が増え昨年より利用延べ日数は増加した。
- 日中ショートステイ利用者は、昨年より実人員が増え、生活介護と日中ショートステイの併用の方の定期利用が増え、延べ日数は増加した。

### (C) 共同生活援助事業 グループホーム「楽」

令和2年5月1日より休止中